

研修報告書

日にち	平成 30 年 1 月 16日(水)～17日(木)
研修名	議員20年の経験から語る基礎講座 地方議員研究所 リファレンス博多駅ビル
研修内容	学校統廃合と廃校の利活用 キラリと光る質問原稿の書き方
	<p>◎学校統廃合と廃校の利活用</p> <p>今後進められる学校統廃合について議会・議員がどのように対応していくのか？廃校になる学校の利活用について研修を受けた。</p> <p>学校統廃合を進める上でロードマップを作成し、それをもとに議会と執行部としての対応をチェックしていくことが重要である。</p> <p>まず執行部には校区問題諮問会議などの審議会を設置し諮問し答申を受けること。市長や執行部のだけの考えで進むのではなく、有識者・地域関係者・民間人 答申をいただくことが必要である。</p> <p>議会は条例改正の議案の上程に向け、議案をうける常任委員会(経済環境教育)でしっかりとした議論をする。時間がかかっても丁寧に最後は結論を出す。反対派の懐柔策を取り入れながら進めることが重要。委員長も重鎮を据えて対応が望ましい。</p> <p>議員・会派は当該する保護者の話をしっかり聞くことは重要。その際には議員・会派としての陳情や請願へ取り組み方の基本方針を決めて対応すること。出来る事と出来ない事はしっかりと分ける。</p> <p>廃校後の学校の利活用は3つに分けられる。</p> <ol style="list-style-type: none">1 寝屋川市は直営運営し、地域の地域クラブへの無償賃貸ししている。2 大東市は大東第三セクターと民間企業と大東市が有償賃貸し契約。体育館や校庭などを利用している。3 南あわじ市は30年間無償賃貸し契約し、野菜栽培を行っている。民間譲渡 <p>多治見市でも人口減少が進む中で避けて通る事の出来ない学校の統廃合問題。地域や保護者の意見をしっかりとまとめ、統廃合された後の利活用も含めて地域に提案することが必要であり、学校に限らず公共施設全般にも言える事だと感じた。</p> <p>◎キラリと光る質問原稿の書き方</p> <p>質問の項目のテーマ選定は自分の肩書や興味のある分野を考え、選挙で訴えた公約、調査結果の集大成、選挙出馬前の確認など優先順位つけ選定していく。</p> <p>質問とは政策提案型、課題追求型、自己主張型に分けられ2元代表制の観点から総合計画を元に課題追求型が望ましい。質問は執行機関の所信や事実関係を明らかにするだけにとどまらず、現行政策の変更、新規制策を採用させるなどの目的に効果がある。</p> <p>原稿の作り方は博士論文のような構成作成し、背景・仮説・検証・結論という流れを基本に文字数ではなく結論重視する。議会質問に置き換えると背景・幹の設定(総計や各種計画・市長マニフェストに記載されているか?)項目を抽出し質問という流れで進める。結論は執行部に事前に伝えておき、中途半端な答弁が出来ない様にしておく。</p> <p>2日間の研修を終えて講師の宮本氏は、寝屋川市議会議員を5期務め市長に立候補し落選という経歴の持ち主で、議会・議員サイドからの視点で大変わかりやすい研修であった。今一度、一般質問の取り組み方や選挙時の公約を見直し、議会・議員活動に取り組んでいきたい。</p>